

軍極秘

海軍武功調査

第六艦隊機密第三號ノ五二
自昭和十七年四月一日
至昭和十七年四月三日

第六艦隊戰時日誌

第六艦隊司令部
取部

8

35

武功調査
17.7.6
接受

一、經過目次

(一) 一般情勢

(二) 敵軍情勢

(三) 任務編制配備

(四) 作戰指導

二、人員

(一) 司令部職員

(二) 麾下總人員

三、命令達報告等

四、參考

(一) 麾下艦船行動

(二) 戰訓

五、作戰經過概要

(終)

昭和十七年四月一日第六艦隊戦時日誌

一經

二般情勢

(1) 香取 355 及 858 二月乃至三月以降内地ニ在リテ整備
 補給訓練ニ從事中ナリシ所 355 四月十五日東京湾
 中哨戒ノ任務ヲ以テ内海西部發配備兵ニ向フ
 香取 東方先遣支隊 (359 1459 1308) 及 十代田 (直率) 八四
 月十六日 PT 二向ケ内海西部發
 甲先遣支隊 (10 159 130 愛國丸) 日進 八 858 司令官之
 ヲ率ヒ四月十六日 130 八 四月十一日 内海西部發 四月十
 五日 (130 八 四月十日) 八 ナン着 四月三十日 日進 八 豫定任
 務ヲ了シ 甲先遣支隊 八 同日 (130 八 四月二十一日) 豫定計
 畫ニ從ヒ 印度洋ニ進出ス

四月十八日犬吠崎、東約七〇哩、敵KLB出現、報
 接レ^{SS}テ直ニ之ニ向ヒ進撃、索敵又東方先遣支
 隊ヲ急速東京湾、東方海面ニ進出、千代田ハ警戒
 部隊ニ合同スル如ク行動セラルモ、遠ニ敵ヲ捕捉
 スルニ至ラス、^{SS}ハ爾後犬吠崎、東方九五〇哩附近
 ヲ哨戒、四月十九日右哨戒線ヲ徹シ掃航ニツツ、^{PC}
 二向フ

東方先遣支隊及千代田ハ十九日其ノ行動ヲ打切り
 二十四日PTニ面航ス

東方先遣支隊ハ四月二十日(仏仏ハ二十七日)PT發Mo作
 戰配備ニ就ク

香取、隱戸、浦上、九ハ四月二十日PT發、^{PC}ニ面航、靖國
 丸ハ四月二十三日吳發、三十日PT着

敵軍、情勢力
 空母ニ隻ヲ基幹トスル敵KdBハ四月十八日東京東方約
 七ニ。運附近ニ現レB-29爆撃機十数機ヲ以テ本邦
 各地ヲ盲目爆セルモ我が方損害軽微ナリ
 空母ハ我が哨戒部隊ニ発見セラルルヤツ逸早く遁走
 敵潜水艦依然各地ニ出没我が海上交通線ノ破壊ヲ
 企圖シツツアルモノノ如シ

先遣部				區	任務編制配備 軍隊區分及任務(月日)
第一潜水部隊	第二潜水部隊	第三潜水部隊	旗艦		
第六艦隊司令部				分	指揮官兵力
第一潜水戰隊	第二潜水戰隊	第三潜水戰隊	直率香取		
隱戸、東亞丸	隱戸、トラク	新玉丸、吳		任務及配備	
	訓練ニ從事以後130及130 印度洋南河作戦配備ニ就ク	中旬迄 吳ニ於テ整備補給 訓練ニ從事以後東京湾 沖有戒	中旬迄 吳ニ於テ整備補給 訓練ニ從事以後東京湾 練ニ從事	吳及内海西部ニ於テ整備 補給訓練 十五日吳奄作戦地ニ向フ	橫須賀ニ於テ整備補給訓 練ニ從事

事 記	隊 補給部隊長	
<p>一 第三潜水戦隊 福志丸ハ南方部隊指揮官ノ指揮下ニアリ</p> <p>一 代田日進 愛國丸 EB 指揮官ノ指揮下ニ在リ (特令ヲ達スルカ)</p> <p>一 四月十日附 588 EB 指揮官ノ指揮下ニ入ル 同隊ハ吳及佐世保ニ於テ救一備補給訓練ニ從事中又同日付 1389 6F 附属トナリ 吳及横須賀ニ於テ整備補給訓練ニ從事中</p>	工 作 部 隊	
	官	
	浦 上 丸	新 玉丸
ト ラ ッ ク	東亞丸ハ中旬吳弁印度洋方面 第一號天洋丸ハ横須賀輸送任務ニ 協力	

3SS	2SS	1SS	直率	戦隊	(四) 艦隊編制 (四月一日)
靖國丸	光壽丸	平安丸	香取	軍艦	
115g	75g	25g		隊名	
1 1	1 1 1	1 1 1		艦	
七 七	三 = 一	一 一 一		名	
五 四		九 七 五		隊名	
125g	85g	45g		艦	
1 1 1 1	1 1 1	1 1 1		水	
七 七 六 六	六 五 四	二 = 二		名	
二 一 九 八		六 五 三		隊名	
				艦	
1	1	1 1		名	
八	七	三 九		隊名	
				艦	
				名	

	第十日附 138g 112g 112g 123g 6F附 属トナル	第十日 123 ハ 124 3 削 之 6F附 属トナル	附 屬					855
			工 作 浦 上 丸	給 糧 第 陸 海 軍 丸	給 油 第 陸 海 軍 丸	給 兵 日 新 立 丸	給 油 日 新 立 丸	
第一眞班			准一 下 兵 三 二	第一補充班 (平安丸)	口立丸 附長官、指揮下		日枝丸	
第二眞班		香取	准二 下 兵 三 二	第二補充班 (二十丸)	属 丸 南方部隊指揮官、指揮下	15g	1 1 1 = 一 一 0 八 六	
第三眞班			准一 下 兵 六 二	第三補充班 (請願丸)		35g	1 1 1 = = = 四 二 一	
第四眞班			0	第四補充班 (香取)		145g	1 1 1 1 三 = = = 0 九 八 七	
第五眞班			准一 下 兵 六 〇	第五補充班 (日枝丸)			1 — 0	

事 記

第五潜水隊 (田良 1959 (156 157 158 159) 2059 (162 164 165 166) リおでじやね
 ころ丸) 印 指揮官ノ 指揮下ニ入ル
 康 垂丸 日之丸 研 除カル
 十四日 第四補給班 (香取) ニ兵 三ヲ 既 置ス
 二十日 第七海軍部 道班員 一名 未 艦
 二十六日 第一潜水隊ニ 編入
 三十日 潜水艦 籍ヨリ 除カル

四 作戰指導

四月十八日大吠崎、東方七〇哩ニ出現セル敵機動部隊ニ對スル作戰

四月十八日。七五二第三日東丸ヨリ敵飛行機ニ機見エト、警報ニ接シ次デ敵ト交戦中及第三日東丸ヨリ報告トシテ航空母艦三隻見エ地莫大吠崎、東七〇哩其他右下略内容ヲ同シラスル敵機動部隊ニ對スル情報ハ昨長官大海一部長 第三ニ監視隊指揮官及警戒部隊指揮官ヨリ 第三ニ通報シ来セリ 斯クテ〇八三〇昨長官ヨリ對米作戰第三法ヲ發令セラル 當時 3SSB (初似) 約一日半航程後ルハ機密先遣部隊命令 作第八號所定(東京湾東方七〇哩附近)哨戒線 高ニ進出中(當時位置東京湾東方五〇哩)ナリレカハ之ニ對

ン敵機動部隊。七一五犬吠崎ノ如ク。淫^{358B}ハ之ヲ邀撃
 昔ノ九四〇^ヲ及^テ殺^シ令^セセリ
 之ヨリ曩^ク香取^ノ十代^田ト共^ニ十六日^内海西部^發「トリック」ニ
 向^ケ進^出申^右ニ艦^ノ前^段ヲ警^戒セシメアリタル東方^{先遣}
 支隊^(359 145)潜水^艦六隻^ヲ反^轉分^離セシメ小笠原^小
 群島^{北方}水道^ヲ経^テ知^方向^ニ掃^航セシム
 又^{十代}田^ニ對^シテハ其^ノ使用^機會^{アル}ハキ^ヲ考^慮シ分^離
 警^戒部隊^ニ合^同スル如^ク行^動スルム
 香取^ハトリック^ニ向^ケ現^行動^ヲ續^行セリ
 其^ノ後^ハ參^謀長^{ヨリ}師^參謀^長宛^{358 158}外^乙丙^{先遣}
 支隊^モ適^宜充^當セシメテ度^内意^{ナリ}トノ要^求ニ接^ス
 一方¹⁵⁸ニ對^シテハ左^ノ通^發令^ニ
 一^{158B}至^急出^擊準^備ヲナセ

各艦別出動準備完成豫想日時ヲ報告セヨ

第六土佐戦通信配備トナセ

い)SS司令官ハSSニ対シ十八日一六〇〇迄ニ地真ヒイヲ00。地真ヒ

イミの(犬吠崎)東方四一。運ニ散開(ニ運間隔)ヲ下令ス

然ルニ今日午後四時長官ヨリSSハ敵方ニ進撃敵ヲ捕捉

スベキ旨電令ス

依テSS指揮官ハ十六節ヲ以テ東方ニ進撃ヲ下令(一六三)

又同時刻SS指揮官ニ対シ「九〇〇迄ニ地真ヒエヒ引ヨリ

地真ヒエヒ引間ニ待敵散開セヨ待敵方向九〇度

ヲ下令散開距離ヲ一。運ニ縮ム前散開線ノ東方四〇運

位置ニ待敵セム

東部軍司令部十八日午後二時發表トシテ左新聞

電報ニ接ス

本日午後零時半敵機数方向ヨリ京浜地方ニ来襲セルモ我空地両防空部隊反撃ヲ受ケ逐次退散中ナリ

現在迄ニ判明セル敵機撃墜数ハ九機ニシテ我方損害ハ輕微ナル模様

又中部軍司令部ハ日午後三時發表ニ依ルハ本日

午後一時半頃敵機ニ機名古屋ヲ空襲セルモ

被害輕微ナリ又二時半頃敵機一機神戸ヲ空襲

シ燒夷彈ヲ投下セルモ大ニ被害ナシ

其ノ後更ニ中部軍司令部ハ午後四時發表ニ依ルハ敵

機ハ名古屋附近ニ六ヶ所神戸ニ三ヶ所ニ夫々燒夷彈

ヲ投下セルモ何レモ目下鎮尤シ又滋賀八日市及和

歌山縣下地方農村ニ機関銃掃射ヲ加ハタルモ損害

ナレ
 十八日我本エラ襲ヒ盲爆彈ヲ落セル敵機ハ其ノ
 ニ依リ「アメリカ」空軍ト認ムラレタルガ東部軍司令部
 發表ニ依ル我カ防空監視隊ノ敵機發見ガ極メテ
 迅速ニシテ且空地防空部隊ノ奮斗ト國民ノ沈着機
 敏ニ動作ニ依リ被害ヲ最少限度ニ止メ得タリ
 右ニ依リ本邦全國的敵機ノ空襲ヲ受ケタルヲ知ル
 但シ敵機動部隊ト、突爾ニ就テハ未ダ確ナル
 判断ヲ下シ得ズ或ハ哨戒機群ガ本邦東方洋上
 ニテ補給ヲ行ヒタル後攻撃ニ来タリタルニ非ルヤトモ判断
 セラル
 四五五北方部隊指揮官ヨリ一五〇五ニ至ル間敵機
 ハ地矣ヒキ五〇〇子〇〇ヒクヒ〇〇ニ各一機ヒタヘ〇〇ニ三機發

ク

見セリトノ報^ア後^レ 巡指揮官ハ其之字搜索乙法速力十節即搜索方
 向九〇度搜索同隔一五涯ヲ下令(八四〇)其ノ後數
 次ニ昇リ散開線ヲ移動シタルモ168(B1254)カ地矣ヒ35
 二於^ニ西航スル敵艦影ヲ認メ向モナク之ヲ見失ヒタル
 外敵情ニ関シ得ル所ナシ一方此向前進部
 隊本隊警戒部隊ノ出撃アリ又264及244ハ本邦東
 方正面ノ索敵ニ努メ北方部隊及横鎮部隊モ哨
 戒線ヲ以テ警戒ヲ續行シタルモ依然敵情ヲ得ズ
 (イ) 彙ニ横須賀軍港ニ於テ修理中ノ155ニ對シ至急出撃
 準備ヲ下合シアリタル處左ノ通完成見込ヲ報告シ未ク
 115 118 126 二十三日 125 二十四日 117 二十六日
 山十九日。四四〇左ノ電報ニ接シ敵機動部隊ハ哨戒線

以東ヨリ飛行機ヲ發進セルモノノ如ク然モ其後更ニ直接ニ攻
撃手スル企圖ヲ有セザルモノト判断セラル

北方部隊機密第ニ八三番電

敵航空母艦發見報告セル第三日東丸及長波丸

其後消息ナレバ日没時ニ於ケル諸情報ヲ綜合スル

敵航空母艦ハ東經一五五度線以東ニ避退セル算ナリ

(2) 本ニ方面ニ未襲セル敵飛行艇ハ第三日東丸ノ報及

本ニ未襲襲情況ヨリ見テ機動部隊掩護ノ下ニ

哨戒線東方海面ヨリ飛進セ算ナリト判断ス

依テ印電令作第五十號ヲ以テSSB及東方先遣支隊ニ対

シ夫々KL散開線(大吠崎ノ東方約一〇〇哩)ニ就キ

前後移動哨戒ヲ行ハシム尚特令アル迄SSSB指揮官ヲ

先遣支隊ヲ併セ指揮セシム

(十九日一二五〇ニ至リ横鎮戰鬥概報第三號(四月七日)
 依リ敵機、我が本エニ対スル空龍不益ニ被害ノ概況ヲ知ル
 其ノ後更ニ大海一部長ヨリ大海機密第三番電ヲ以テ
 被害ノ通知アリ同日一二五〇更ニ大海一部長ヨリ左ノ軍機
 親展電報ニ接ス

敵機動部隊ハ航空母艦三隻ヲ基幹トスル部隊ニ
 シテ昨十八日〇九〇〇頃尤吠崎東方六〇〇里附近(附註B-25型)
 爆撃機ヲ發進セシメテ我哨戒線ヲ攪乱シ退
 セリ 未襲セル敵爆撃機ノ數機(多クトモ十機ヲ出ス)
 ミニテ低空ニテ四五匹程度ノ爆弾及一匹程度ノ焼夷彈
 ヲ投下銃撃セル所モアリ
 東京 横浜 横須賀 千葉 栃木 新津 名古屋 神
 戸等ヲ襲撃シ滋賀 三重 四國 中國 中 西南部 九州

等ヲ経テ途中町村船舟等ヲ銃撃セシモノアリ大部ハ
 支那沿岸基地(衢州麗水等)ニ向ルモノト認ム(三機
 確認)一部「レバ」方面ニ向ヒ或ハ潜水艦ソ併船
 救助セラレ又ハ途中不時着セルモノナキニモアラス未ダ敵
 機ヲ撃墜セル確報ナシ
 栗田九人今朝敵機四機ヲ認メスノ報アリ敵機動
 部隊ニ対スル警戒ハ直ニ緩ムヘカラサルモノト認ム
 支那方面(レバ)方面)ニ帰投セル敵機ハ我が西部
 湾佛領印度支那我が本土等ニケリテ的ニ未龍スル
 可能性アルニ付警戒ヲ要スルモノト認ム
 四十九日一九三〇年電令作第一三四號ニ依リ554 2704 835 千代田
 第一期作戦兵力部署ニ復飯セシ依テ印電令作
 第五二號ヲ以テ335B東方印支隊 千代田艦長宛左記発

令ス

山代田及東方FB支隊ハPT面航スベシ

右行動中東方FB支隊ハ山代田艦長ノ指揮ヲ受ケ

其ノ前路ヲ警戒スベシ

東方FB支隊ニ対スルSSB指揮官ノ指揮ヲ解ク

一方ISSニ対シテハFBヨリ何等指令ナキヲ以テ十九日ニ三五〇

左記照會電報ヲ發ス

宛FB參謀長 發FB參謀長 通報 ISS司令官

ISSハ次期作戦関係モアリ隊定工事ヲ續行セシメ度

處右ニ関シ内意承知致度

右ニ対シFB參謀長ヨリ「貴意通取計ハレ度」旨返

電アリ 依テ二十日一六〇〇ISSハ予定工事ヲ整備作業

ヲ實施スベキ旨電令ス

其後敵機動部隊ノ動靜ニ関ス何等得ル所ナク二日

三五〇 師長官ヨリ左ノ電令ニ接セリ

完 師各長官 電報總長、横兵、鎮大湊警各長官

師機動隊第八三番電 二十日 一九三〇

師電令作第一三五號

(1) 對米國艦隊作戰第三法止メ

(2) 各隊(艦)第一期兵力部署ニ復返セヨ

但シ2154(東港空欠)ヲ264司令官ノ指揮下ニ入ル

(3) 北方部隊基地航空部隊300ハ引續キ警戒ヲ嚴ニスベシ

(4) 斯クシテ300ハ引續キ警戒ヲ嚴ニスツAF方面ニ掃蕩索敵

(18) 三輪司令官病氣為テ一日横須賀ニ向ケ168ハ機材故

障之カ修理ノ為 吳ニ回航セシメ 特令アル迄指揮ヲ

執ラシム)ヲ行ヒタルモ何等手掛ヲ得ズ 向ケ返投

9660

123

セシユ
ニトス
其ノ他ノ兵力ハ
既述ノ
通行動
千代田
309
1459
ハ
千四日
PT着

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	四 月 日
航 海	← クツラト →						○七。○	海 航						桂島道							諸訓練	内海西部							香取	
航 海	←							ク																						隱戸
	←																													新玉丸
			ク承ヲ揮指ノ官長令司隊艦空航一十第																								日立丸			
														着																東亞丸
			ク承ヲ揮指ノ官揮指隊部方南																								富松丸			
			(迄日十月五)カ協ニ務任送輸鎮横																								第 三 号 天 洋 丸			
航 海	←																													浦上丸
	クツラト													桂島道																千代田
			戦作面方洋度印													部西海内及吳												日進		
																											愛口丸			
																											報口丸			
																											記事			

(一) 四
参
考
艦
船
ノ
行
動
(香
取
其
他)

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	月	日
																														一九	
																														一五	
																														一七	
																														一九	
																														二三	
																														二五	
																														二六	
																														二七	
																														二八	
																														二九	
																														三〇	

(一) 麾下艦艇行動(第一潜水部隊)

第二潜水隊

第四潜水隊

平安丸

記 事

横

須

順

南洋新西蘭方面

航海 佐世保

潜水艦籍ヨリ除カル

第一潜水隊編入

ヨリ除カル

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	四	月	日	艦
←																											イ	七	第一				
←																											イ	一	第七				
																											イ	二	潜水				
																											イ	三	隊				
																											イ	四	第八				
																											イ	五	潜水				
																											イ	六	隊				
←																											イ	七	第二				
																											イ	八	潜水				
																											イ	九	部隊				
																													記事				

(一) 麾下艦船行動(第二潜水部隊)
 須賀, 官指隊部方南
 承ヲ指, 官指隊部方南

15

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	月 日 船		
航海		横須賀司令官交代		航海																										イ八		
																														イ七四	第一潜水隊	
																														イ七五	第二潜水隊	
																														イ六八	第三潜水隊	
																														イ六九	靖國丸	
																														イ七一	記	
																														イ七二		
トリック		航海																														部西海内及吳
																																事

(一) 麾下艦船ノ行動 (第三潜水部隊)

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五	〇四	〇三	〇二	〇一	四	日	船			
																															一	第十三潜水隊			
																															二	第十三潜水隊			
																															三	第十三潜水隊			
																															四	第十三潜水隊			
																	← 賀 須 横 →																		
																	吳																		
																	6F 編入																		
																	記																		
																	事																		

(一) 麻毛下艦船ノ行動(附属潜水隊)

18

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	四	月	日
← 保											世 佐										由良		
←											吳										第十九潜水隊		
←											保 世 佐										第三〇潜水隊		
←																					第 五 潜 水 隊		
←																					記 事		
←																					四月十日師長官 指揮下ニ入ル		

(一) 指揮下部隊 (第五潜水隊)



第六艦隊機密第二三號ノ五九
自昭和十七年五月一日
至昭和十七年五月三十日

第六艦隊戰時日誌

第六艦隊司令部
旗艦香取部



目次

- 一、經過
 - 一、一般情勢
 - 二、敵軍情勢
 - 三、任務編制配備
 - 四、作戰指導
- 二、人員
 - 一、司令部職員
 - 二、麾下總人員
 - 三、令達報告等
 - 四、參考
- 三、麾下艦船行動
- 四、戰訓
- 五、作戰經過概要

終

昭和十七年自五月至五月三十一日第六艦隊戰時日誌

一般情勢

東方先遣支隊

東方先遣支隊

各一隻(121)ヲ配同地

右監視中(121)潜(35)司令乗艦

貨物船一隻七日五千噸級貨物船一隻ヲ擊沈

129潜(148)司令乗艦ハ十三日以降監視中

ト認メラル戦艦一隻驅逐艦一隻ヲ發見セルモ龍巻擊

機ヲ得ズ敵ハ港内ニ遁入セリ爾余四隻ハMO作戦

所定ノ配備ニ向フ途上五月四日諸島南方ニ於

テ敵機動部隊出現ノ報ニ接シ敵所在海面南

ハ五月四日以降

監視ニ任ゼンタルBrisbane

ハ五月五日一萬噸級

貨物船一隻ヲ擊沈

監視中ニ處

發見セルモ龍巻擊

遁入セリ爾余四隻ハMO作戦

途上五月四日諸島南方ニ於

報ニ接シ敵所在海面南

及

Brisbane

一萬噸級

貨物船一隻ヲ擊沈

監視中ニ處

發見セルモ龍巻擊

遁入セリ爾余四隻ハMO作戦

途上五月四日諸島南方ニ於

報ニ接シ敵所在海面南

沖ニ

方ニ在リテ之カ退路ヲ扼スルニ努メ九日朝以降残敵ヲ
 南方ニ索敵シ十一日 ^{Brisbane} 北東海面ニ達シタルモ途上九日及
 十日數回敵機ヲ認メタル外敵情ヲ得ズ
 十日夜ヨリ掃航シツツトラックニ面航補給ノ上十八日濠洲
 東岸ニ向ヒトラックヲ發
 (2) 12/18 十九日「スバ」二十四日オークランドヲ黎明飛行偵察
 ヲ實施ス
 「スバ」=輕巡「グラスゴー型」一驅逐艦七小哨戒艇八在
 泊スルヲ認メ
 (3) 12/29 ハ二十三日「ドニ」ノ黎明飛行偵察ヲ實施ス
 偵察情況
 (A) 島東 ^{0.25 哩}ニ大巡又ハ戰艦一
 (B) ^{Cockatong} 島造船所 東岸ニ戰艦一同西岸ニ大巡一何レモ

修理中、如シ

(4) 右偵察、結果 東方先遣支隊 特型格納筒、攻撃ス
「ド」= 集中スルニ決シ 五月二十日夜 「ド」= 對シ豫定
ノ 攻撃ヲ實施ス

(5) 「ハ」ト「ク」= 販還ノ途次 十六日「ラボール」ノ北方海面ニ達
シタル以後 消息不明 十六日敵潛、襲撃ヲ受ケ沈没
ト三十日附認定ス

(6) 甲先遣支隊

(1) 110 及 130 ハ 五月二十日迄ニ飛行偵察ノ結果「ダーバン」「アテン」

「カンジバル」「ガルフスホルム」ニ主要艦船在泊セザルヲ確メ二十九

日(184)「イデーエカレッ」港ロニ配シ 110 ハ 三十日同港内ヲ飛

行偵察シ 型戦艦一型輕巡在泊スルヲ認メ 三十日特

型格納筒 Elizabeth 攻撃ヲ實施ス Arcthus 施ス

ハ戦果確認ノ為三十日黎明飛行偵察セテ所右兩艦ヲ見ズ

一方各潜水艦ハ豫定ノ計畫ニ依リ筒收容配備ニ就キ

收容ニ努メタルモ遂ニ一隻モ發見スルニ至ラズ

ハハ主機械故障ノ為本攻撃ニ参加セズ

同隊ハ今後主トシテモサンピック海峡南阿方面ニテ通商破

壊ヲ實施ノ豫定

ハ第三潜水部隊

ハ五月初旬敵潛出現ノ状況及通信情報等ヨリ敵機動

部隊ノマシヤル諸島方面ニ未襲算アリト判断シ東

京湾東方哨戒配備ヨリクエヅリニニ回航ノ途ニアリタル

SSSB(一部欠)ヲシテ五月六日ヨリ八日迄「マシヤル」諸島北東海

面哨戒ニ任ゼシメタルモ得ル所ナク十日迄ニクエヅリニ着

右配備ニ就ク途上味方飛行機、誤爆ニ依リ損傷ヲ受ケ
之ヲ修理ノ為九日クエヰリシ發吳ニ皈投セシム

(11) 四月三十日 22時 八二十四日 夫ニMI作戰 配備ニ就ク如ククエヰリシ發

(12) 第一潜水部隊ハ二月十日(一部十日) 横須賀發南方部

隊指揮官ノ指揮下ニ南方作戰及印度洋方面作戰

ニ從事五月一日(11) 主機械故障ノ為三月二十七日) 横須賀

ニ皈着整備補給ヲ行フ

(13) 第一潜水部隊ハ横須賀ニ在リテ整備中迄十日同

地發北方部隊指揮官ノ指揮下ニ入り北方作戰ニ從事ス

(14) 先遣部隊指揮官指揮下ノ第五潜水部隊ハ中旬クエ

ヰリシ着下旬MI作戰 配備ニ就ク

(15) 香取 五月三日クエヰリシ着全作戰支援ニ任ズ

(16) 千代田 十七日クエヰリシ着東方先遣支隊ニ補給ヲ行ヒ

(三) 敵軍、情勢

(一) 第一段作戦ハ極メテ順調ニ進歩シ米英蘭、在東亞

兵力殆ド潰滅セリ

然シ共敵、敗残兵力及増派兵力ハ濠洲新西蘭方面

及南阿方面ニ鉅量伏シ機ヲ窺ヒツアルガ如キ情報アリ

(二) 敵潜水艦ハ依然トシテ本邦近海及南方海面ニ出没

任務終了ニ十日トシテ飛内地ニ返還セシム

日進六五月一日任務終了八日柱島着兩艦共先遣部

隊指揮官ノ指揮ヲ解カル

(三) 嗣ハ中旬クシテ着ク作戦諸打合及準備訓練

ヲ行ヒタル上作戦配備ニ就キタルモ敵警戒厳重ナ

リシ為本作戦ハ取止メラル

交通破壊及偵察等ニ從事シアルモノ、如ク我が方ノ被害
 亦増加ノ傾向アリ
 敵ハ機動部隊ヲ以テ二月以降「マール」
 「ウエーキ」南島
 島ヲ漸進的ニ空襲シ来リタル情況及右潜水艇ノ活動
 茲ニ無線謀報等ヨリ察スルニ敵ハ何等カノ機動戦
 ヲ行フ算アリト考ヘラレアリシ處 四月十日敵機動部
 隊ハ我本土ヲ空襲シ来レリ

STOT

③任務編制配備
 (1)軍隊區分任務及配備(五月一日)

記	隊		部				先		區
	補給部隊	附屬	第...部隊	第...部隊	第...部隊	第...部隊	第...部隊	旗艦	
事	官		長				第		指揮官
	各特務艦長 (監督官)	直率	第...艦隊司令官	第...艦隊司令官	第...艦隊司令官	第...艦隊司令官	第...艦隊司令官	直率	
		第十三潜水隊	第五潜水隊	第八潜水隊	第三潜水隊	第一潜水隊	第一潜水隊	香取	兵力
		隱戸 新五丸 東亞丸 富士丸 浦上丸 陸奥丸	愛國丸 報國丸	千代田 日進	第三潜水隊	第一潜水隊	第一潜水隊	任務	配備
一五月一日第二潜水隊及富士丸南方部隊指揮官指揮ヲ解カル	二先遣部隊指揮官指揮下ニ入リタル部隊	三五月八日指揮ヲ解カル	四五月三日指揮ヲ解カル	五五月十七日指揮ヲ解カル	六愛國丸、報國丸	七	八	九	十
上旬 吳及橫須賀ニ於テ整備補給訓練ニ從事 中旬 クニエリシ着ク作戰打合及準備訓練ヲ行ヒ後ク作戰配備就ク 下旬 吳及佐世保ニ於テ整備補給訓練ニ從事 下旬 MI 作戰ニ從事		上旬 吳及橫須賀ニ於テ整備補給訓練ニ從事 中旬 クニエリシ着ク作戰打合及準備訓練ヲ行ヒ後ク作戰配備就ク 下旬 吳及佐世保ニ於テ整備補給訓練ニ從事 下旬 MI 作戰ニ從事	上旬 吳及橫須賀ニ於テ整備補給訓練ニ從事 中旬 クニエリシ着ク作戰打合及準備訓練ヲ行ヒ後ク作戰配備就ク 下旬 吳及佐世保ニ於テ整備補給訓練ニ從事 下旬 MI 作戰ニ從事	上旬 吳及橫須賀ニ於テ整備補給訓練ニ從事 中旬 クニエリシ着ク作戰打合及準備訓練ヲ行ヒ後ク作戰配備就ク 下旬 吳及佐世保ニ於テ整備補給訓練ニ從事 下旬 MI 作戰ニ從事	上旬 吳及橫須賀ニ於テ整備補給訓練ニ從事 中旬 クニエリシ着ク作戰打合及準備訓練ヲ行ヒ後ク作戰配備就ク 下旬 吳及佐世保ニ於テ整備補給訓練ニ從事 下旬 MI 作戰ニ從事	上旬 吳及橫須賀ニ於テ整備補給訓練ニ從事 中旬 クニエリシ着ク作戰打合及準備訓練ヲ行ヒ後ク作戰配備就ク 下旬 吳及佐世保ニ於テ整備補給訓練ニ從事 下旬 MI 作戰ニ從事	上旬 吳及橫須賀ニ於テ整備補給訓練ニ從事 中旬 クニエリシ着ク作戰打合及準備訓練ヲ行ヒ後ク作戰配備就ク 下旬 吳及佐世保ニ於テ整備補給訓練ニ從事 下旬 MI 作戰ニ從事	上旬 吳及橫須賀ニ於テ整備補給訓練ニ從事 中旬 クニエリシ着ク作戰打合及準備訓練ヲ行ヒ後ク作戰配備就ク 下旬 吳及佐世保ニ於テ整備補給訓練ニ從事 下旬 MI 作戰ニ從事	上旬 吳及橫須賀ニ於テ整備補給訓練ニ從事 中旬 クニエリシ着ク作戰打合及準備訓練ヲ行ヒ後ク作戰配備就ク 下旬 吳及佐世保ニ於テ整備補給訓練ニ從事 下旬 MI 作戰ニ從事

	3SS	2SS	1SS	直率	戦隊	(四)艦隊編制(五月一日) 潜水艦
	靖國丸	さくら丸	平安丸	香取	軍艦	
	11SG	7SG	2SG		隊名	
	1 1 七 七 五 四	1 1 1 三 二 一	1 1 1 一 一 一 九 七 五		艦名	
	12SG	8SG	4SG		隊名	
	1 1 1 1 七 七 六 六 二 一 九 八	1 1 1 六 五 四	1 1 二 二 六 五		艦名	
					隊名	
	1 八	1 七	1 九		艦名	
					隊名	
	1 一 一				艦名	

屬		附							
第七報道班	第十寫真班	第三西海軍用郵便所	第六補欠班	給油 富士丸	給兵 新玉丸	給油 隱戸	855	日枝丸	
香取及靖國丸ニ置ク	香取ニ置ク	進士官以上 下士官兵八	進士官以上 下士官兵一七	進士官以上 下士官兵九	進士官以上 下士官兵二	進士官以上 下士官兵五	進士官以上 下士官兵三	進士官以上 下士官兵一	
		第補充班 (平安丸)	第補充班 (大とす丸)	第補充班 (靖國丸)	第補充班 (香取)	第補充班 (日枝丸)			
		56	56	56	56	56			
		3	3	3	3	3			
		3	3	3	3	3			
		12	12	12	12	12			
					第十三潜水隊	(イニ一イニニイニニイニニ)	15g	イイイイ 二二二二 四二一	
							55g	イイイ 二二二 四二一	
							145g	イイイイ 三二二二 〇九八七	
								イ 一 〇	

工 作		給 糧		属		附		SSS		戦 隊		(先遣部隊指揮官、指揮下ニ在ル部隊) 潜水艦	
浦 上 丸		第 三 號 天 洋 丸		報 國 丸		愛 國 丸		日 進		由 良			軍 艦
								リ お で し や の 丸		1959			隊 名
										個 個 個 個 五 五 五 五 九 八 七 六			艦 名
										3059		隊 名	
										個 個 個 個 六 六 六 六 六 五 四 二		艦 名	
										備 考			

身	冠
一五	一五刊九刊 田良 離 除
一六	一六刊一六刊 田良 離 除
一七	一七刊一七刊 田良 離 除
一八	一八刊一八刊 田良 離 除
一九	一九刊一九刊 田良 離 除
二〇	二〇刊二〇刊 田良 離 除
二一	二一刊二一刊 田良 離 除
二二	二二刊二二刊 田良 離 除
二三	二三刊二三刊 田良 離 除
二四	二四刊二四刊 田良 離 除
二五	二五刊二五刊 田良 離 除
二六	二六刊二六刊 田良 離 除
二七	二七刊二七刊 田良 離 除
二八	二八刊二八刊 田良 離 除
二九	二九刊二九刊 田良 離 除
三〇	三〇刊三〇刊 田良 離 除

四 作戰指導

第一五月初旬「モーレヤル」北東方ニ於ケル 3SSB (168 172 欠)

作戰

情況

五月初旬以降通信諜報ニ依ル「モーレヤル」北東方ニ
 敵信ヲ感受スルト一再ナラズ加フルニ「クエジエリン」方面ヨリ
 水道附近及「キーヨ」水道外ニ敵潛ヲ認メタルト又一方南
 洋部隊ハMO作戰準備中ニシテ敵ハ之ガ情勢ヲ探知
 シ本土空襲ノ機動部隊ヲ豪洲新西蘭方面ニ轉用
 スル疑ナレトセズ從テ其途中心「モーレヤル」方面ヲ奇襲シMO
 作戰兵力ヲ索制スルノ舉ニ出ズル算アリト認メラル
 若シ如キ情勢ニ即シ五月四日一三三〇 3SSB 宛テ託ラト令ス
 (即電令作第五五號)

通信謀報 茲ニ數日來敵潜水艦出現ノ状況ニ徴シ
 敵機動部隊³⁵⁵ヲ³⁵⁸シテ諸島方面ニ未襲ノ算大ナリ
³⁵⁵(³⁵⁸ハ速ニM散開線一也真ニハカヨリ³⁵⁵ハ³⁵⁸ニ至ル
 線(ヨリ³⁵⁸北東約三〇哩)ニ就キ哨戒スベシ
 斯ク³⁵⁵(³⁵⁸ハ五月六日ヨリ八日迄右散開線ニ在リ
 哨戒セルモ得ル所ナシ
 此間³⁵⁵潜ハ右配備ニ就テ途中六日〇五四三第四航空
 部隊(³⁵⁵ト)中攻誤爆ニ依リ損傷ニ受ケ之カ修理ノ為
 吳ニ飯港ニシム

第二MD作戰ニ對スル東方先遣支隊ノ協力
 山作戰準備

四月十四日外參謀長ヨリ左ノ軍機親展電報ヲ接受ス

MO作戦、五月一日頃「ポール」出撃、五月十日陸上、予ニ準備中
 SJS、協力ハ概シテ記要領ニ依ルニトニ取計ヲ得度、御都合
 知ラレ度

四月下旬ヨリ「ニエトカレドニヤ」北端「ケルプタウシセント」連結線ニ待
 敵散開、敵水上部隊ノ北上ヲ阻止ス（「ニエトカレドニヤ」附近配
 備、潜水艦ヲ以テ四月下旬頃迄敵水上艦艇ノ存否ヲ
 偵察ス）

MO作戦概成後（概シテ五月十五日頃ト豫想）協議ニ依リ配備
 ヲ概ス

④ 参加隻数知ラレ度

右ニ對シテ、互電ヲ發セリ

⑤ 協力、潜水艦 3隻 14隻（計 17隻）

⑥ 配備、吳着可能期日五月三日頃、配備就テハ尚研究要アリ

(iii) 配備留期間

359 特別任務關係上六隻中二隻ハ五月十日四隻ハ十四日
配備ヲ撤スニト致度

419 香取千代田 359 419 四月十日トシテ着豫定付具際詳
細打合ノ下致度

斯クシテ香取四月十日トシテ着後MO作戦南シ兵部
ト打合ヲ行ヒ一方東方先遣支隊ニ對シテハ右ニ基キ作戦命
令ヲ與フ

(iv) 作戦経過

(i) 121 127 監視ノ為四月二十七日。七〇〇トシテ發先行

尔余ノ東方先遣支隊ハ三十日。七〇〇トシテ發先行

A 散開線ニ向フ途上四月午前敵ツラギニ未襲セルヲ以テカ

退路ヲ扼スル為ニ散開線(基英)散開方向 130 外散

150 400
166 31E

開巨離(40)ニ就ク如ク發令之ヲ27°方向ニ150°移動(リ散開線)
 次六日黎明迄ニ散開線ニ移動其後六日一八三〇
 4F長官ヨリ潜水部隊ハ180°以南概テ散開線附近ニ
 待敵レ敵機動部隊北上スル場合ノ退路ヲ扼スルト共ニ
 味方基地航空部隊ノ索敵圏内端末附近ノ索敵
 二伍セルル如ク作戰セシメラレ度トノ要望アリタルヲ以テ七日黎明
 明配備ヲE散開線ニ改シ基卓^{16°40'S 144°06'E}散開方面^{90°27'}
 散開巨離(40) ^{127°}對シテハ特令アルニ見位置ヲ留メム
 (印電令作第五八號)爾後所在海面ニ於テ敵機
 動部隊ノ退路ヲ扼スル如ク努メタルカ七月八日珊瑚
 海々戰ニ傷キタル殘敵ハ既ニ南方ニ避退セルノ疑アリ
 九日朝以降之ヲ「ドーン」沖迄追撃シ同港外ニ待
 敵スル如ク下令セシモ次期作戰ノ關係上MO作戰中

10

止トナルヤナ日
投セルルヲ下セル
Brisbane
北東海面ニ達シタル時機トシテ
取

右行動中九日及十日数回敵機ヲ認メタル外敵情
ヲ得ズ

(ii) 偵察
121 (359) 司令乗艦

121 (359) 司令乗艦) 五月四日ヨリ十日迄同港外ニ配備偵
察ヲ實施ス

(iii) 偵察
129 (459) 司令乗艦) 十三日以降インドニ港外ニ配備
偵察ヲ監視ヲ實施ス

第三東方先遣支隊其後ノ作戰

(1) 東方先遣支隊ハMO作戦ニ協力後
ニ急行、十七日午代田ヨリ補給ヲ受ケルタル後直ニ濠洲

東岸ニ向ヒ發進ス
 而シテ何ハ筒ニ故障アリ一度トラクニ引返シ何ハ筒
 ヲ搭載出發セリ
 十代目任務終了後 二十日トラクノ發内地ニ般還セム
 曰南方要地偵察

五月十九日
 二十日
 二十一日
 Auckland
 Sydney

十二日
 二十三日
 二十四日
 黎明飛行偵察
 黎明飛行偵察
 黎明飛行偵察

偵察状況

島、東ニ大巡又ハ戦艦一

Cockatoo Shark 島造船所東岸ニ戦艦一同西岸ニ大巡一

何毛修理中ラレク灯火煌々ナリ

Garden 島、西ニ大型駆逐艦又ハ輕巡ニ駆逐艦三

(一) 右偵察、結果東方先遣支隊、攻撃手ヲ
 集中スルニ決シ、引續キ同地、監視ヲ續行シ、余ノ潜水
 艦、同地ニ向ヒ進出概ネニ于九日、着
 (二) 八月二十九日、三二五更ニ、Sydney、飛行偵察ヲ行ケル處港
 内、状況左ノ角
 島、東^{400m}ニ戰艦一隻、同島、北東^{400m}ニ大巡一隻、同島
 西例、駆逐艦數隻在泊、碇泊灯、三灯出防材情
 況不明ナルモ、出入船舶、頻繁(夜間モ)ナルニ鑑ミ、一部
 航路ハ開放シアルモノト推定ス
 港外哨戒艦艇ヲ認メス
 (三) 右ニ基キ、東方先遣支隊指揮官ハ攻撃日ヲ三十日ト決
 定シ、收容配備ノ変更ヲ下令セリ
 (四) 斯クテ三十日(八月)夕刻、十二個ハ筒ヲ発進

一八〇。頃各筒、湾口突破三隻共概不確實ニ港内進
 入レ少クモ一筒以上一九〇〇頃攻撃ヲ實施シ得タルヲ

確實ナリ

其ノ後、状況東方先遣支隊攻撃概報其ノ一其ノ二

通ニシテ確實ニ敵艦ヲ攻撃シ得タルモノト認メラルモ

遺憾ナガラ一艇ノ返還スルモノナク乗員一名モ收容シ得ズ東

方先遣支隊ハ六月三日朝(12124ノ外二日黎明)搜索ヲ

打切り各艦先遣部隊電令第ハ〇號ニ依リ所定方向(129(ガズン)

121124(セントニ)127(マルボルン)122(ニールランド)ニ於テ奇襲行通破

壊ニ任ゼレム

本攻撃ニ関シ事前、飛行偵察ノ結果ト偵察後港口監

視ヲ嚴ニシタルニ徴シ高夜戦艦一隻大巡一隻(或ハ一隻)

以上)其他ノ艦艇港内ニ在リテ概不確實ニシテ龍衣撃入音

12

二十九日(21)飛行偵_ニ依ル島ノ東方碇泊戦艦(情況ニ依リ)
 同島北東方碇泊(大巡_艦ニ指_ニ向_シタルモノト推察スルモ敵
 艦ノ碇泊位置ノ変更等ニ依リ筒_ハ他ノ目標ヲ選定セル算
 ナレトモズ

六月一日以後敵劍_ノ放送_ニ港用船(或ハ海軍補助艦_トス
 莫雷艇トモ言フ)一隻ノ沈没死者六名負傷一。名行
 方不明十三名トアルハ故_ラニ被害ヲ秘匿セルモノトモ推斷_シ
 得_テ筒_ノ攻撃_ハ有形無形_ノ之_ノ成果相違_大ナルモノアリ
 ト信ズ

第四甲先遣支隊ノ作戦
 甲先遣支隊戦闘詳報ノ通

第五 卜作戰

五月十九日 卜艦隊三番取ニ於テ六艦隊三潜戦司令部
 第十三潜水隊 第一航空艦隊 兩司令部 職員會合

第三十四航空隊

打合ヲ行フ

右ニ依リ六艦隊機密第二號ノ三卜作戰ニ関スル 2459 司令部ト

協定ニ其年各潜水艦所定配備ニ就カレム

斯クテ補給地莫タルヲレニテアリトゲートンヨルニ對シ五月三日 1123

偵察報告依テ警戒嚴重見込ナレ敵水上艦船ニ隻見ユ

ト報告アリ一日延期セラレタルモ更ニ三十日夜 湾口附近敵

隻哨戒中 敵飛行艇一機見ユト報告アリ

敵ハ右環礁ヲ使用シツアルモノナク到底之ヲ我方ニ使

用スル見込ニクテ卜作戰ハ取止メラル

三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	日							
一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	一	船							
←																					香取									
← 海航 *																					隠戸									
←																					新丸									
ク承ヲ揮指官揮指隊部方北										濱横										船	賀須横	雷丸								
川工江ク	← 海航 →										← 賀須横 →										海航	力協賀須横	天彦丸							
←																					浦上丸									
← 号 →										← クツラト →										←										千代田
←																					日進									
←																					慶丸									
←																					報回丸									
← 兵 →										徳山	← 動行面方ソナペ →										東重丸									
←																					記									
←																					事									

(一) 四
 摩 参
 下 考
 艦 船
 行 動
 (香 取 其 他)

1801

158

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	月
																																船
																																イ 七
																																イ 一
																																イ 二
																																イ 三
																																イ 四
																																イ 五
																																イ 六
																																イ 七
																																イ 八
																																イ 九

一) 麾下艦船行動(第一潜水部隊)

順

順

横

記

事

10

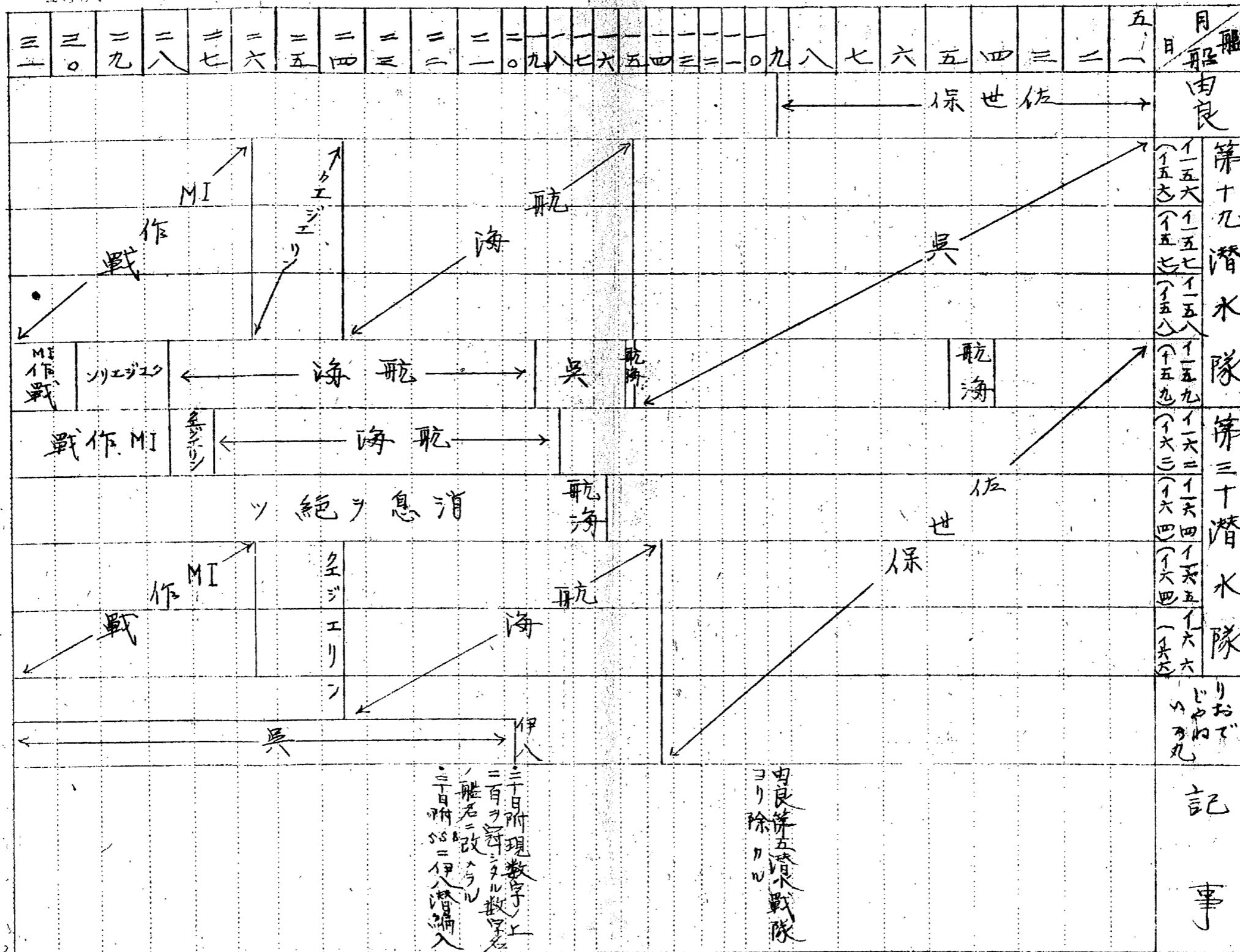
三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	月	船	艦																					
←																						呉	海航		艦修		北ルヤシ		東海		南		戦		作		MI		戦		海航		イ	八	第一潜水隊	
←																						呉	海航		艦修		北ルヤシ		東海		南		戦		作		MI		戦		海航		イ	六	第二潜水隊	
←																						呉	海航		艦修		北ルヤシ		東海		南		戦		作		MI		戦		海航		イ	七	第三潜水隊	
←																						呉	海航		艦修		北ルヤシ		東海		南		戦		作		MI		戦		海航		イ	七	靖観	
←																						呉	海航		艦修		北ルヤシ		東海		南		戦		作		MI		戦		海航		イ	二	記	
←																						呉	海航		艦修		北ルヤシ		東海		南		戦		作		MI		戦		海航		イ	二	事	
																						伊予	五月六日		388 = 編入																					
																						五月三十日	附現数字		ノイニ百ヲ		冠タル数字		名ノ艦名ニ改メラ																	
																						五月三十日	伊予		388		ヨリ除		キ		588															

(一) 艦下艦船行動 (第一潜水隊)

1084

三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	月	日		
地戦作K										至	海航												イニ	船		
地戦作K			ソエジエタ		海航							吳												イニ	船	
地戦作K										至	海航						賀須横						イニ	船		
																							記		事	

(一) 麾下艦船ノ行動(附属潜水部隊)



(一) 指揮下部隊 (第五潜水戦隊)

第十九潜水隊
第三十潜水隊

月
日
良
由
良

り
お
の
で
九
記
事

三月十日附現数字以上
二百ラゲリタル数字上
ノ船名ニ改メラル
三百附の伊八潜編入
由良第五潜水戦隊
ヨリ除カレル